

## 【エリアの特性】

## ＜自然＞

**河川やため池、樹林地に野鳥などが集まる自然が身近に感じられるまち**

讃良川がエリアの南側の市境界部を流れ、蔵王池、宮池、山新池、大谷池などのため池が分布しています。これらの水辺は市民に比較的身近な存在であり、野鳥が生息するなど、市内でも比較的自然が残された場になっています。

## ＜歴史・文化＞

**古い社寺跡や旧集落のまちなみが残るまち**

白鳳時代（7世紀後半）に創建され、平安時代に一時廃絶し、鎌倉時代に再建された薬師寺式伽藍配置の大寺であったと伝えられる高宮廃寺跡（国指定史跡）があります。この寺域内に延喜式内社大社御祖神社おおもりみおやじんじやがあり、近くには延喜式内高宮神社があります。高宮廃寺がある丘陵一帯が、当時の偉容が偲ばれる礎石などが残る高宮遺跡です。

このように、貴重な歴史を伝える遺跡とともに、高宮や打上、明和の旧集落は、細い道が続き、昔の面影を残す落ち着いたまちなみとなっています。

## ＜人工・都市＞

**緑豊かなまちなみや第二京阪道路を活かしたまち**

丘陵部に開発されたあさひ丘住宅は、生け垣などの緑のまちなみが続く、多い落ち着いた雰囲気を持つ戸建て住宅地です。

エリアを横断する第二京阪道路や西側の境界部を通る国道 170 号などの沿道では、周辺の旧集落などとの調和も視野に入れた計画的なまちづくりが期待されています。

## 景観整備の方向

**古い歴史が感じられる風格のあるまち**

## 景観形成の基本目標

## 景観形成に向けた誘導基本方針

## ＜自然＞

- 高宮廃寺跡周辺の歴史と自然を大切にするまち

- 高宮廃寺跡周辺の緑やため池を活かす。
  - ・ 市民が自然に触れ、歴史を感じることができる樹林やため池の活用
  - ・ 樹林やため池に集まり、市民が身近に観察できる野鳥・水鳥などの活用

## ＜歴史・文化＞

- 古くからあるうるおいのある集落のまちなみ景観を活かすまち

- 旧集落のまちなみ景観を活かす。
  - ・ 古くから培われてきた集落のまちなみ景観の活用
  - ・ 回遊性の創造や拠点地区などでの演出による歴史資源の活用

## ＜人工・都市＞

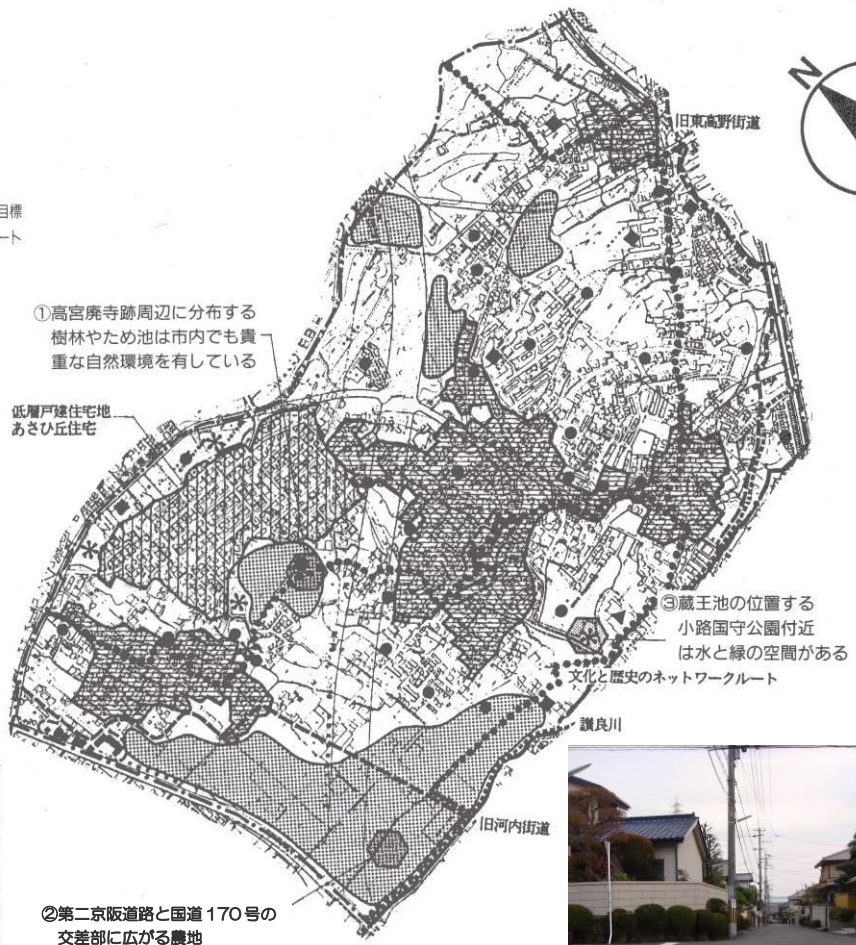
- 第二京阪道路と沿道のまちなみが一体となり、緑豊かなまちなみ景観が広がるうるおいのあるまち

- 第二京阪道路と沿道が一体となったまちなみ景観を誘導する。
  - ・ 第二京阪道路の植栽や副道の活用
  - ・ 戸建て住宅地の緑のまちなみの活用

## 景観資源と特性図

〈凡例〉

- 旧街道
- 商業施設・商店街
- \* ため池
- 河川・水路
- 農地・斜面緑地
- 社寺・鎮守の森
- 公園・広場
- 学校教育施設
- ▲ その他公共施設
- 低層戸建住宅地
- 中高層住宅団地
- 旧集落地
- 景観単位及びその周辺の整備目標
- ..... 文化と歴史のネットワークルート
- 自歩道(既存)
- 自歩道(計画)
- \*\*\* 緑道(既存)
- ◇◇◇ 緑道(計画)
- 北河内広域自転車道



### ■景観基本単位

名称	<旧集落地> 明和1・2丁目、高倉1・2丁目	<旧集落地> 高宮1・2丁目	<低層戸建住宅団地> あさひ住宅	<旧集落地> 小路南町・小路北町
景観整備の目標	○集落地内の古い民家などまちなみを活かした景観をつくる。	○旧街道の景観を大切に、古くから残された家なみを守り育てる。	○ゆるやかな丘陵地にある緑豊かなまちなみや高宮廃寺跡などの歴史資源を活かした景観を守り育てる。	○計画的なまちづくりを進め、旧集落のまちなみと田園風景を活かした景観を育てる。
活用する景観資源	○古いまちなみの活用 ○旧集落の景観と調和する歴史を感じさせる散策路としての回遊性の演出による地域の歴史資源の活用	○古い家なみと落ちついた土塀などの活用 ○丘陵地に残る緑の活用 ○農地と住宅が共存するまちなみの活用	○民地内の緑の活用 ○緑や建物の形態、意匠などのまちなみの育成に関するルールづくりなどの取り組みにより保全・育成されるまちなみの活用	○古いまちなみの活用 ○農地と住宅が共存するまちなみの活用